

# 楽しく覚える教育法規！どこにも載ってない教員採用試験の語呂暗記法

<http://phys-edu.net/wp/?p=14>

科学のネタ帳

## 学習指導要領の変遷

昭和22年	社会科の新設 教育基本法、学校教育法公布 自由研究
昭和26年	家庭科 職業科 体育・保健 特別活動
昭和33年	道徳 読み書き算（3Rs）の重視
昭和43年	クラブ活動 基本的事項の重視 授業実数が「最低」から「標準」に改められる 進学率90%
昭和52年	ゆとりの時間 基礎的、基本的な内容の重視 習熟度別学級編成
平成元年	生活科 心の教育
平成10年	ゆとり 生きる力 総合的な学習の時間

教育法規

<p>日本国憲法</p> <p>ぜ ひ ほ し が き に</p>	<p>ぜひ干し柿に（してください）</p> <p>全体の奉仕者 表現の自由 法の下での平等 信教の自由 学問の自由 教育を受ける権利 日本国憲法</p>
<p>教育基本法</p> <p>き み ぜ ん せ き ぎ ほ も だ が し しゅ ぎ</p>	<p>君、前世（は）木々？ほも？駄菓子主義？</p> <p>教育基本法 - 前文 - 政治教育 機会均等 教育行政 方針 目的 男女共学 学校教育 社会教育 宗教教育 義務教育</p>
<p>学校教育法</p> <p>が け の ち じ</p>	<p>崖の地磁気でエセ首相</p> <p>学校教育法 健康診断 - 懲戒 授業料の徴収</p>

き	教科用図書
で	-
え	就学の援助
せ	学校の設置者
しゅ	出席停止
しよ	職員
う	-
学校教育法施行例	蛾が (いた)
が	学校教育法施行例
が	学齢簿の編成
学校教育法施行規則	餓死者血欲しがる。
が	学校教育法施行規則
し	出席簿
しゃ	指導要録
ち	懲戒
ほ	保存期間
し	職員会議
が	学校評議会
る	-
地方公務員法	父ここふけ。せめてヒ素死隠せ。隠せ。
ち	地方公務員法
ち	懲戒
こ	降任
こ	-
ふ	サービスの宣言
け	研修
せ	業務に専念する義務
め	命令に従う義務
て	-
ひ	秘密を守る義務

そ	争議行為の禁止
し	信用失落行為の禁止
か	-
く	-
せ	政治的行為の制限
か	-
く	-
せ	営利企業等の従事制限 * (3義務 2禁止 2制限)

同和問題

明治4年	解放令
大正11年	全国水平社
昭和26年	オールロマンス事件
昭和40年	同和対策審議会 「同和問題はもっとも深刻にして重大な・・・」
昭和52年	ゆとりの時間 基礎的、基本的な内容の重視 習熟度別学級編成
昭和59年	地域会全対策協議会
平成8年5月	同和問題の早期解決に向けた・・・ 人権擁護対策推進法 「我が国固有の人権問題である同和問題は解決へ進んでいるものの・・・」
平成9年7月	人権教育のための国連10年に関する 「世界の平和を願う我が国が「人権の世紀」である・・・」
平成11年7月	人権尊重に関する国民相互理解
平成12年	人権教育及び人権啓発の推進
平成14年	人権教育・啓発に関する基本計画

教育心理

オペラント条件付け プログラム学習 問題箱	スキナー
モーズレイ人格目録 行動療法 行動主義	アイゼンク
完全習得学習 形成的評価	ブルーム
発見学習 教育の過程 「どの教科でもどの子供にも教えることができる」 ウッズホール 経験重視説	ブルーナー
アイデンティティ モラトリアム	エリクソン
強化	パブロフ
一般教育学 「私は教授のない教育を認めない」 明瞭-連合-系統-方法 「あらゆる人にあらゆることがらを教育する」	ヘルバルト
実験心理	モイマン
教育心理学 学習の基礎 試行錯誤説 効果の法則	ゾーンダイク
偏差値	ウエスクラー
道徳判断の発達段階	コールバーグ
バランス理論	ハイダー
場理論 「よい理論ほど役立つ物はない」	レヴィン

プログラム学習 マージナルマン	
「権力への意思」 人は未来にむかって生きべきもの	アドラー
しゅ芸種智院	空海
かん宜園 大分 能力主義 江戸最大	広瀬淡窓
松下村塾 山口 高杉晋作	吉田松陰
適塾 大阪 医学	緒方洪庵
古義堂 京都 240年続く	伊藤仁斎
鳴滝塾	シーボルト
けん園塾	荻生徂徠
昌平坂学問所	林羅山
塔の上の旗	マカレンコ
大教授学 世界図絵 あらゆる人にあらゆることを教授する	コメニウス
直感 スイス ゲルトルート 隠者の夕暮れ 白鳥の歌	ペスタロッチ
ドイツ 子供の遊び、自由な表現 内発的自己活動	フレーベル

世界初の幼稚園 人間の教育	
沈黙の春	レイチェルカーソン
エミール 自然に帰れ 人間の手に渡ると悪しき物になってしまう	ルソー
性的発達段階 夢	ルソー
輻輳説	シュテルン
成熟優位説 オオカミに育てられた子	ゲゼル
最近接領域	ヴィゴツキー
感覚運動期、前操作期、具体的操作期、形成的 操作期 シエマ	ピアジェ
問題-仮説-資料-検証-適用 経験主義（プラグマティズム） 問題解決学習 学校と社会 民主主義と教育	デューイ
ウィネトカプラン	ウォッシュバーン
ドルトンプラン	パーカースト
モニトリアルシステム	ベル
プロジェクトメソッド 目的設定-計画-遂行-判断	キルパトリック
モリンソンプラン 探索-提出-類化-発表	モリンソン
イエナプラン	ペターゼン
サマーヒル学園 フリースクール	ニール
脱衛星化	オーズベル
心理的離乳	ホリングワース



アンダーマイニング 内発的動機付け	デシ
非指示的カウンセリング グループエンカウンター	ロジャース
ゲスファーテスト	ハーツホーン
ソシオメトリックテスト	モレノ
問答法 産婆術	ソクラテス
帰納法 知は力なり	ベーコン
弁証法 我思うゆえ我あり	デカルト
内向性、外向性	ユング
受容的、搾取的、貯蓄的	フロム
体型	クレッチマー
経済型・理論型	シュプランガー
作文教育	芦田恵之助
童話	鈴木三重吉
社会的教育学 人間はただ人間的な社会生活でのみ人間と成る	ナトルプ
予備-揭示-比較-総括-応用	ライン
分析-統合-連合-系統-方法	ツイラー
イデア アカデメイア	プラトン
形相（エイドス） プラトンの弟子	アリストテレス
世界初知能検査	ビネー
教理問答書	ルター
教育令の制定	田中不二麻呂
浄土宗	法然
浄土真宗	親鸞
天台宗	最澄

真言宗	空海
臨濟宗	栄西
曹洞宗	道元
初心忘れるべからず	世阿弥
人間は万物の尺度	プロタゴラス
天は人の上に人を作らず	福沢諭吉
ユネスコで生涯教育をとく	ラングラン
臨床的カウンセリング 指示的カウンセリング	ウィリアムソン
LD	カーク
洞察 チンパンジー	ケーラー
田園で家族的指導の方法について 蟹の書 工作実験	ザルツマン
児童の家 教具	モンテッソリー
自由ヴォルドフ学園 人間と自然の共生型社会	シュタイナー
環境優位説 行動主義	ワトソン
モデリング 社会学習理論	バンデューラ
環境閾値説	ジュンセン
生得説 発達段階を6つにわけ (エリクソンは8つ)	ゴートン
進歩主義	パーカー
公民教育の概念 労作学校	ケルンシュタイナー
国民教育と民主主義	クループスカヤ
生活による生活のための学校	ドクロリ
核兵器禁止	ラッセル

系統的脱感法	ウオルピ
不安階層表	
発達曲線	スキャモン
アタッチメント	ボウルビー
マターナルデプリベーション	
インプリンティング	ローレンツ
エゴグラム	バーン
交流分析	
TAT	マレー
欲求の階層構造	マズロー
ピグマリオン効果	ローゼンタール
忘却曲線	エビングハウス
人間悟性論	ロック
教育学講義	カント
人間は教育によってのみ人間と成る	
実質は本質に先立つ	サルトル
万物は流転する	ヘラクレイトス
サルの代理母	ハーロウ
教育と社会学	デュルケム
YGテスト	ギルフォード
適正処遇交互作用論	クロンバック
アンダーマイニング	デシ
有意味受容学習	オーズベル
サインゲシュタルト説	トールマン
ドイツ	フランケ
ピエティスム	
ハル大学教授	
強化の法則	ハル
刺激反応	
オペラント条件付け	スキナー
日本の陽明学の祖	中江藤樹
齊家論	石田梅巖

唱歌教科書	伊沢修二
再生的試行 生産的思考	ゾーン
脱学校の社会	イリイチ
刺激反応接近説	ガズリー
実験心理学	コフカ
教育の目的を倫理学に、方法を心理学に求める	ヘルバルト
生活が陶冶する	ペスタロッチ

著者と人名

教育の過程	ブルーナー
一般教育学	ヘルバルト
教育心理学	ソーンダイク
ゲルトルート、白鳥の歌	ペスタロッチ
人間の教育	フレーベル
児童の世紀	エレンケイ
児童の家	モンテッソリー
社会的教育学	ナトルプ
公民教育の概念	ケルンシュタイナー
国民教育と民主主義	クループスカヤ
人間悟性論	ロック
教育学講義	カント
蟹の書	ザルツマン
教育と社会学	デュルケム
学校と社会	デューイ

その他重要語句

投影法	ロールシャッハテスト
絵	TAT
生徒相互評価 集団内の誰がそれにあたるか	ゲスフーテスト
集団内の人間関係や下位構造	ソシオメトリックテスト
学習の過程で子供が記入	ポートフォリオ評価
学習者に自らの力で知識を学習させる	発見学習
事例をだしながら	範例学習
学習者が自主的に自学自習する。 個別学習法	プログラム学習
学習者自身が主体的に考え判断	問題解決学習
細かくわけて はちの巣	バズ学習
学習者全員の習得を目指す ブルーム	完全習得学習
知的操作の系列を学習	アルゴリズム学習
いじめのもっとも多い年代	中1
ADHD は ( ) 才以前に現れる	7 歳
自閉症は ( ) 才	3 歳
精神分裂病の新名	統合失調症
文部大臣の諮問に応じて教育、学術または文化 に関する基本施策について調査	中央教育審議会
それを実行	教育課程審議会
中曽根 3 年だけ	臨時教育審議会
2000 年に内閣総理大臣	教育改革国民会議
教員採用に関する	教育職員養成審議会
希少野生動物の保護	ワシントン条約
広く国民からお金を集め自然を守る	ナショナルトラスト
ショックに対して適切に反応できなくなる	心的外傷ストレス症候群 PTSD

教師がのびるはずだと期待した生徒はのびる	ピグマリオン効果
他者の人権や社会規範の無視	行為障害
見た目判断	ハロー効果
生涯学習できるように多様な学習の場を提供	インテリジェントスクール
学習情報の提供	生涯学習センター
手作りの学校	チャータースクール
OECD が提唱 生涯教育 社会に出たものが再入学できる	リカレント教育
相手の話をじっくり聞く	カウンセリングマインド
従来の教室間の壁を取払い、個別学習	オープンスクール
気に入らない相手を友好的に	反動形成
学力到達度調査	PISA
国際教育到達評価学会	IEA
理科教育動向調査	TIMES
通常の小学校に就学することが適当	認定就学者
今後の特別支援教育においては一人一人の () を把握し	教育的ニーズ
LD,ADHD、自閉症は全体の () パーセント	6
学内及び関係機関や保護者との連絡役として () を位置づける	特別支援コーディネーター
地域と自治体に開かれた学習機関	コミュニティーカレッジ
一定課題に対する自信	セルフエフィカシー
学習の効果を記述させるための概念	カタルシス
背反する二つの名大を同時に与える	ダブルバインド
文章完成法	SCT
父親に愛着する娘	エレクトラコンプレックス
母親に愛着する息子	エディプスコンプレックス
学習できる状態になっていること	レディネス
母性愛の欠如	ホスピタリズム
ボウルビー	マターナルデプリベーション
マズロー欲求階層説	所属・愛情

生理的欲求→安全→ () → () →自己実現	自尊
学ぶ意欲を有するものを広く受け入れる。不登校者	トライネットスクール
個人の意見や態度、判断、行動様式を決定する集団	準拠集団
集団と集団、集団と個人の間を明らかにレヴィン	グループダイナミックス
学習の効果は時間がたったあとに現れる。	スリーパー効果
学習の直後よりも一定期間後に高くなる	レミネッセンス
集団の構造的変化	-
1	孤立探索期
2	水平分化期
3	垂直的分化期
4	部分集団形成期
5	集団統合期
作業能率は社会環境が決める	ホーソン研究
語学指導を行う外国青年を招く	JET プログラム
ウェスクラーの知能検査	-
成人	WAIS
児童	WISC
幼児	WPSSI
問題が難しすぎる	床効果
問題が易しすぎる	天井効果
発達の遅れが重度かつ多様	広汎性発達障害
体の一部が勝手に動く	チック
染色体異常	ダウン症
病的遺伝子	フェニースケトン尿症
120個の質問	YG
550個	MMPI (ミネソタ)
内向性、外向性の調査	MPI (モーズレイ)
自我状態の強さ	エゴグラム
学生が無気力になる	スチューデントアパシー



健康診断	6月30日
通信制高校	トライネットスクール
短い時間を自由に組み合わせて強化や学習活動の特性に合わせた授業を行う	モジュール方式
鎌倉中期、北条実時により開かれた	金沢文庫
来談者に適切な指示を与える	指示的カウンセリング
カウンセラーは受容し解釈し説得する	折衷的カウンセリング
適切な条件におかれれば人間は誰もが成長に向かう	ロジャース グループエンカウンター
新しい行動を学習させることが効果をもつ	アイゼンク
母性的な養育を受けられなくなる事	マターナルデプリヴェーション
児童福祉法での児童とは ( ) 才	18
幼稚園に入園することのできる者は ( ) から	3
少年法でいう少年とは ( ) 才	20
左右対称の絵	ロールシャッハ
欲求不満な絵	PF スタディー
木をかかせる	バウムテスト
望ましい行動に代用貨幣を	トークンエコノミー
恐怖反応が生じなくなるまで長時間さらす	フラッディング法
カウフマン夫妻 情報処理様式と習得度の二つの面から	K-ABC
知能検査の結果から推測される学力が認められない	学業不振児 アンダーアチーバー
特殊学級の児童生徒数は ( ) 人以下	15
不登校者 ( ) 万人	13
保護者の拒否・怠慢	ネグレクト
一つ一つの知識や技能の習得によってのみ陶冶が行われるとする考え	実質的陶冶
自分自身とは異なるタイプの児童に対して、評価者が自分の評定尺度で評価し、過大過小評価してしまうこと	対化誤差
教師の評価基準が曖昧であったとき、評価に優	中心化傾向

劣の差が生じてしまう	
様々な劇を演じる心理療法	サイコドラマ
物理、化学、地学、生物から理科を組織	融合カリキュラム
中心と成るテーマを設定し、各教科の関連する 内容を取り出し構成するカリキュラム	クロスカリキュラム
必須過程及び統合カリキュラム バージニアプランが有名	コアカリキュラム
体験参加型学習	ワークショップ
成績は向上するが、途中で一時的に成績が向上 しなくなる	プラトー
明治5年 全国民大正 フランスがモデル 全国を大学校、中学校、小学校に	学制
明治12年 アメリカがモデル 自由主義 学区を廃止 田中不二麻呂	教育令
明治19年 森有礼 帝国大学校令、小学校令、中学校令、師範学校 令	学校令
明治23年	教育ニ関スル勅語
昭和16年 義務教育が5年に	国民学校令
ピアジェの認知発達理論 反射的な行動 2歳 アニミズム、自己中 7歳 脱中心化、保存の概念 11歳 抽象的推理・仮説 12～	- 感覚運動期 前操作期 具体的操作期 形成的操作期
観点別評価 1	- 関心 意欲

2	思考 判断
3	技能 表現
4	知識 理解
( / ) 子供が自主的に問題解決に取り組む方法 ( ) ( ) ( ) ( ) の4段階	プロジェクトメソッド／キルパトリック 目的 計画 実行 評価
( / ) 共通必修と集団的創造的活動にわけ、前者で個別、後者で集団	ウイネットカプラン／ウオッシュバーン
( / ) 型に分けた教授法 鑑賞型、言語型、実技型、反復学習型にわけ る。 ( ) と ( ) の考えを融合	モリンソンプラン／モリンソン  デューイ ヘルバルト
( / ) ( ) と ( ) にわけ	ドルトンプラン／パーカー 主要教科 副次的教科
( / ) 一度に多くの人数を効率よく指導	モニトリアルシステム／ベル
( / ) 学級は共同体の縮図 低学年、中学年、高学年の3つにわけ	イエナプラン／ペターゼン
認定就学者制度	学校教育法施行令
科学の知見や人類の文化の伝達を目的とする教科カリキュラム	経験カリキュラム
学習を刺激と反応の1対1は対応	連合理論
反復経験をしなくてもおかれた環境内で最高の解決法とその結果を見通せることが学習である	認知理論

<p>H15.10.7</p> <p>「初等中等教育における当面の教育課程及び指導の充実・改善の方策について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習指導要領の ( ) の一層の明確化</li> <li>・ ( ) の確保</li> <li>・ ( ) の一層の充実</li> <li>・ ( ) の一層の充実</li> <li>・ ( ) の整備</li> </ul>	<p>基準性</p> <p>学習指導時間</p> <p>総合的な学習の時間</p> <p>個に応じた指導</p> <p>学習環境</p>
<p>「新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興基本計画のあり方について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ( ) を目指す自立した人間の育成</li> <li>・ ( ) と ( ) を備えた人間の育成</li> <li>・ ( ) をリードする創造性に富んだ人間の育成</li> <li>・ 新しい ( ) を創造し、21世紀の国家、社会の形成に主体的に参加する日本人の育成</li> <li>・ ( ) を生きる教養ある日本人の育成</li> </ul> <p>教育基本法の見直し</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 信頼される ( ) の確率</li> <li>2 ( ) をリードする ( ) の推進</li> <li>3 ( ) の回復、学校、家庭、地域社会の連携、協力の推進</li> <li>4 ( ) に主体的に参加する意識や態度</li> <li>5 日本の伝統文化の尊重、郷土や ( ) と国際社会の一員としての意識</li> <li>6 ( ) の実現</li> <li>7 教育振興基本計画の策定</li> </ol>	<p>自己実現</p> <p>豊かな心 健やかな体</p> <p>知の世紀</p> <p>公共</p> <p>国際社会</p> <p>学校教育</p> <p>知の世紀 大学改革</p> <p>家庭の教育力</p> <p>公共</p> <p>国を愛する心</p> <p>生涯学習社会</p>
<p>H8.7.19</p> <p>「21世紀を展望した我が国の教育のあり方」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ( ) の改善</li> <li>・ 教員の ( ) の向上</li> <li>・ 学校外の ( ) の活用</li> <li>・ ( ) の整備</li> </ul>	<p>教員配備</p> <p>資質・能力</p> <p>社会人</p>



<p>や ( ) といった本来社会性を育成する場で社会性が育まれにくくなっていることがあると考えられる。</p>	<p>地域社会</p>
<p>「地方公務員特例法」 地方公務員はその職責を遂行するために絶えず ( ) に務めなければ成らない。教員は授業に支障のない限り ( ) の承認を受けて、勤務場所を離れて研修を受けることができる。教育公務員は ( ) の定めるところにより長期にわたる研修を受けることができる。</p>	<p>研究と修養 本属長 任命権者</p>
<p>「新しい時代における教養教育のあり方について」 我々は歴史的な転換期・変革期にあつて、一人一人にふさわしい生き方を実現するために必要な教養を再構築していく必要がある。 教養は個人の ( ) に先立って重要であるのみならず、目に見えない社会の基盤であつて、一人一人が広く深い教養を持つことは、魅力ある社会を築くことにつながる。このような社会の実現こそが我が国を ( ) において尊重され、尊敬される ( ) として評価されることになる。 ・ ( ) から培うこと ・情報から自ら必要なものを見つける ・ ( ) を通じて自分とは何かを考え自己を確立するとともに、自分と異なる人や社会分感度を理解し、これを尊重しながらともに生きていく姿勢を身につける。</p>	<p>人格形成 国際社会 品格ある社会 幼少期 異文化との相互交流</p>
<p>「男女共同参画社会基本法」 男女が社会の ( ) な構成員として、自らの ( ) によって社会のあらゆる分野における活動に参画する ( ) が確保され、もって男女が ( ) に政治的...、共に ( ) を担うべき社会を形成することをいう</p>	<p>対等 意思 機会 均等 責任</p>

<p>「中学校学習指導要領」</p> <p>学校の教育活動全体を通じ ( ) の機能の充実をはかること</p>	<p>ガイダンス</p>
<p>「高校学習指導要領」</p> <p>生徒が主体的に判断、行動し積極的に自己を生かしていくことができるよう ( ) の充実を図ること</p>	<p>生徒指導</p>
<p>「中学学習指導要領 道徳」</p> <p>道徳的価値および人間としての生き方について ( ) を深め、 ( ) を育成するものとする</p>	<p>自覚 道徳的実践力</p>
<p>「人権教育および人権啓発の推進に関する法律」</p> <p>国および地方公共団体が行う人権教育および人権啓発は学校、地域、家庭、 ( ) その他様々な場を通じて国民がその ( ) に応じ、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得することができるよう、多様な ( ) の提供、効果的な手法の採用、国民の ( ) 性の尊重および実施期間の ( ) 性の確保を旨として行われなければならない。</p>	<p>職域 発達段階</p> <p>機会 自主 中立</p>
<p>「学力向上アクションプラン」</p> <p>1 個に応じた指導の充実 2 ( ) や ( ) の伸長 3 学力の ( ) の向上 4 ( ) ・ ( ) の向上</p>	<p>個性 能力 質 英語力 国語力</p>
<p>「豊かな心を育む」</p> <p>( ) 道徳 ( ) に関する教育 地域の人材や多様な専門分野の社会人を ( ) とする</p>	<p>心に響く 人間としての生き方あり方 心の先生</p>
<p>「私立学校法」</p> <p>私立学校の ( ) にかんがみ、その ( ) を重んじ ( ) を高める</p>	<p>特性 自主性 公共性</p>

<p>「キャリア教育の推進に関する」</p> <p>( ) や社会性の獲得。将来の精神的 ( ) 自立</p>	<p>自主性 経済的</p>
<p>「不登校の対応のあり方について」</p> <p>存在感が実感できかつ精神的な ( ) のえられる ( )</p> <p>共同活動を通して ( ) をみにつけて ( ) の場</p>	<p>存在感 心の January 10, 2006 居場所</p> <p>社会性 絆作り</p>
<p>「学校教育法」</p> <p>学校を設置するものは学校の種類に応じ ( ) の定める設備を備えなければならない</p>	<p>文部科学大臣</p>
<p>「確かな学力」</p> <p>確かな学力とは ( ) や技能はもちろんのことこれに加え ( ) や自分で ( ) をみつけ、自ら学び ( ) に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力でありこれを ( ) の中で育むことが肝要</p>	<p>知識</p> <p>学ぶ意欲 課題</p> <p>主体的</p> <p>個性を生かす教育</p>